

大金さんの  
ある日のスケジュール



- 8:30 勤務開始
- 8:45 申し送り、朝のカンファレンス
- 9:00 受け持ち患者さんに挨拶し状態観察  
体拭きやお着替えなど
- 12:00 休憩
- 13:00 ボランティアの方々と音楽療法の実施
- 14:00 検温
- 15:00 患者さんと家族の方とのコミュニケーション
- 17:00 夜勤への申し送り
- 17:30 勤務終了

**部署紹介**  
9階西病棟は、1996年に栃木県で初めて開設された緩和ケア病棟です。病室は、個室12室、4人室2室の20名の方が入院できます。がんの進行に伴い、一般病棟や自宅での療養が難しくなった患者さんの、身体や心のつらさを和らげるための治療やケアを行う病棟です。緩和ケア病棟には、様々な設備があります。南に面した広く明るいデイルームには、ファミリースタッフが備えられ、誰でも使用することができます。リラクゼーションルームでは、マッサージやエアーマッサージや音楽を聴くなど多目的に使用できます。家族室で

は、家族が休憩したり、宿泊したりすることがあります。希望がある時は、ペット面会もできます。

**緩和ケア病棟での看護師の役割**  
患者さんや家族の意向を尊重し、生活の質を保ちながらその人らしい生活を支えるための援助を目指しています。また、外泊や一時退院に向けて、地域と連携を図りながら、自宅で穏やかに過ごすための支援もしています。

入院生活の中でも季節感が感じられるように、ボランティアの方々と一緒に、四季折々の行事や音楽会などを毎月開催し、患者さんと家族が、大切な時間を穏やかに過ごせる環境づくりを心がけています。

**今後の目標**  
・**意気込みをぶつけて**  
緩和ケア病棟に入院されたより多くの患者さんや家族が、緩和ケア病棟に入院してよかったと思ってもらえるようにしていきたいです。

9階西病棟の皆さんと  
(前列左が大金さん)

Group photo



今号のマイスターは...



9階西病棟 看護師 おおがね ともみ 大金 朋美さん

マイスターに Q&A

- Q. 仕事をする上で心がけていることは？**  
A. 患者さんや家族が抱えている辛い気持ちを吐き出せるよう、話しやすい雰囲気を作ることを大切に、気持ちに寄り添った看護を提供できるよう心がけています。
- Q. 当院を選んだ理由は？**  
A. 看護学生の時に当院で実習を受け、テキパキと働く先輩達の姿がありました。教育体制の整っている当院でたくさんの知識と技術を学びたいと思いました。
- Q. この職種を目指したきっかけはなんですか？**  
A. 母が入院した際に、小学生だった私のことを心配してくれる優しい看護師と出会い、看護師に憧れを持ちました。ふれあい看護体験に参加したことで、看護師の仕事に魅力を感じ、少しでも自分が人のために役に立てればと思い看護職を選びました。
- Q. 尊敬する人は誰ですか？**  
A. 両親、義母
- Q. 気分転換したい時はどうしていますか？**  
A. 家族とキャンプや旅行に行っています。



笑顔のマイスター

第43回

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてください。笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです！  
ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。